

千葉県議会議員 我孫子市選出
会派『千葉政策議員団』代表

千葉県議会報告
ゆう can Change! vol.55



水野 ゆうき 40歳 無所属

水野ゆうきは9月定例千葉県議会にて、会派『千葉政策議員団』を代表して登壇し、11項目、計37問の質疑を行いました。

- 1 知事の政策方針
- 2 行政改革
- 3 障がい者支援施策
- 4 教育施策
- 5 支援が必要な子どもたちの施策
- 6 県立病院
- 7 防災・治水対策
- 8 盛土対策
- 9 農業問題
- 10 水道事業
- 11 薬物乱用防止

全編は
こちらから
視聴できます



水野ゆうきの代表質問項目

縦割り行政の弊害を解消し、スピード感をもって施策推進を!

今議会で水野ゆうきが質疑した防災対策、外来水生植物対策、子どもの貧困対策や盛土対策等は複数の部局にまたがる課題です。過剰な縦割り意識と押し付け合いにより、民間では数分で解決するようなことであっても、行政では協議に大変な時間を要することがあり、県民へのサービス低下を大変懸念しています。



また、現代社会が抱える課題はひとつの所管で解決できるわけもなく、全庁的に関わる事案でもあることから、平時より部局横断的に情報交換を行い、スピード感をもってそれぞれが協力し合いながら解決に導くことが求められます。

水野質問 複数の部局にまたがる施策の推進に当たっては部局間の連携が必要であるが、そのための仕組みづくりや職員の意識改革に取り組むべき! どのようなことが課題と県は認識しているのか。

県答弁要旨 熊谷知事から幹部職員に対して、日頃から全庁的な政策課題への理解促進や他部署への貢献意識を持つように伝えていく。職員一人ひとりが常に県民の視点に立ち、県政運営に当たると意識をもって、様々な課題に対応していくよう、日々の業務や研修を通じてより一層の職員の意識改革に取り組んでいく。

水野要望 あらゆる部署が県民の命を守るという使命感をもって、抜けない施策を県内に展開し、県民のために縦割り行政の弊害を取り除くことで、スピード感と実のある県政運営を要望する。

災害時に備え、平時からの各部局間の連携体制の構築を!

災害時に誰一人取り残さないために、国や近隣都県、市町村はもちろんのこと、千葉県行政としてもすべての部局間で平時から連携体制を構築しておくことが重要です。発災時には無関係のように思えた部局であっても、被災地で感染対策が必要になったり、災害の内容によって環境問題が発生したりと、災害によって今後起こりうる想定外とされるような被害に対し、全庁的に目配りをし、少しでも被害をおさえる「減災」につなげていくことが大切です。

縦割りによってカバーしきれない業務や所管が曖昧な事案が発生した際、部局間の連携や調整が機能せずに被災地や被災者に影響を及ぼすことがあってはなりません。代表質問では、災害時に迅速に対応できるよう、平時から各部局間の連携に取り組むよう求めました。



我孫子市で行われた九都県市合同防災訓練を熊谷知事と出席

県有建物の修繕を! ~けやきプラザの不具合、早期修繕へ~

千葉県では、県有建物の老朽化対策のため、長寿命化計画を策定し、建替えや大規模改修を進めています。一方で我孫子市にある「けやきプラザ」(県と市の複合施設)のように長寿命化計画に示されていない施設も多く存在します。けやきプラザは駐車場の故障により長期間利用できなかったことがあり、さらにはエレベーターの故障や、空調の故障により、この猛暑であった夏に多くの利用者に支障が生じるなどといった事案が相次ぎました。多くの県民が利用する県有施設については、安心して安全に利用できるよう、適切な維持管理を行うことが県の責務であるとし、県に早急な対応を求めました。

県からは整備計画に位置付けていない施設などについては、不具合に対する修繕のほか、定期点検の結果を踏まえた予防的な修繕など、施設の運営に支障が出ないよう必要な整備を行っていくとの答弁があり、故障しないようにメンテナンスも怠ることのないよう要望しました。